



(4784)

2025年12月期 第3四半期 決算説明資料

2025年11月13日

代表取締役 社長執行役員 伊藤 正

1. 2025年第3四半期 決算サマリ
2. 成長戦略・各分野の進捗と施策
3. 株主還元について
4. 参考資料

1. 2025年第3四半期 決算サマリ

2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

3. 株主還元について

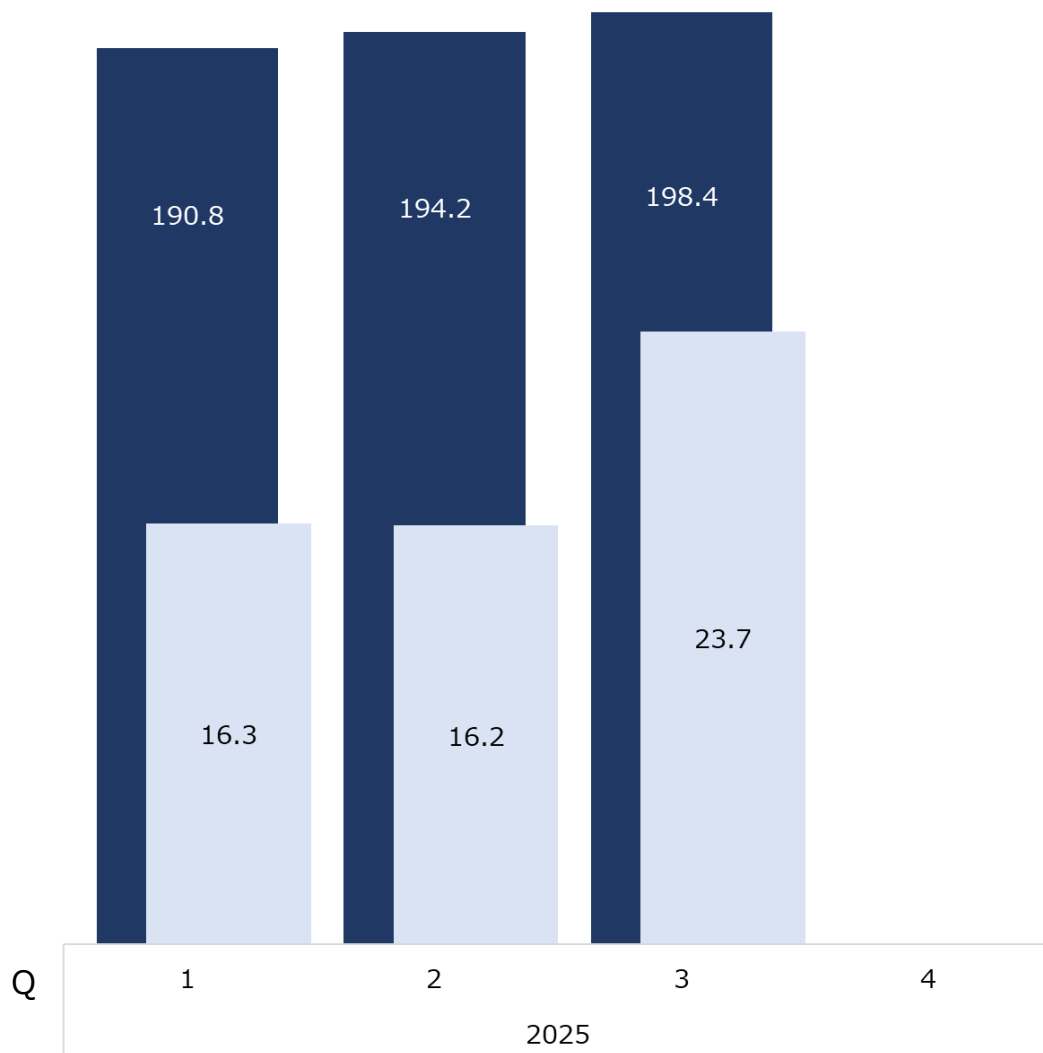
4. 参考資料

	2025年Q3 累計	通期予想	通期進捗率
売上高	583億円	750億円	77.8%
営業利益	56.3億円	80億円	70.4%
経常利益	56.5億円	78億円	72.5%
純利益	40.1億円	50億円	80.3%

- ・ 通期予想に対し、**想定通り**
- ・ 営業利益は上期進捗40.8%
Q3で30%進捗し70.4%

連結業績 四半期推移

■ 売上高（億円）
■ 営業利益（億円）



売上高 QoQ +4.2億

増加要因

- ・ GPUクラウド事業において売上が増加
- ・ ドメインの大口登録により一時的に売上増

営業利益 QoQ +7.5億

増加要因

- ・ GPUクラウド事業 堅調に進捗
- ・ インターネット接続事業利益増
- ・ 広告事業のコスト構造見直し、利益回復

連結業績サマリ（Q3累計・セグメント別）

売上高

営業利益

インターネットインフラ事業

488億円 60.1億円

インターネット広告・メディア事業

99.3億円 1.1億円

その他及び連結消去

▲4.3億円 ▲5.0億円

連結業績サマリ（Q3累計・セグメント内訳）

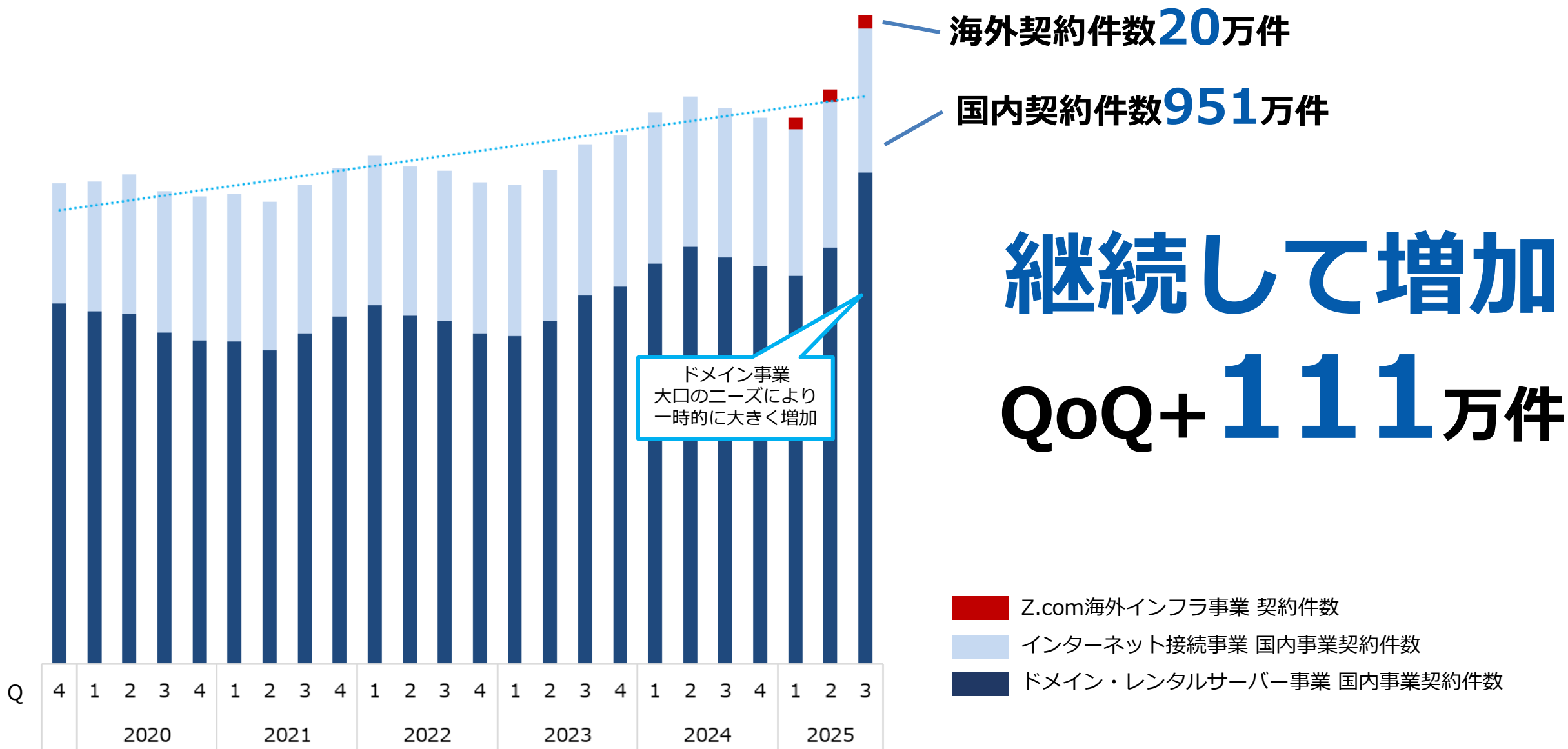
GMO INTERNET

売上高

営業利益

インターネット インフラ事業	ドメイン・ レンタル サーバー事業	  	150億円	33.9億円
	インターネット 接続事業	 	312億円	60.1億円
	インフラ その他	海外事業 インフラ事業 共通費等	25.7億円	▲33.9億円
インターネット 広告・メディア 事業	インターネット 広告・メディア 事業	 	99.3億円	8.2億円
	広告・メディア その他	広告事業 共通費等	- 億円	▲7.0億円
その他及び連結消去		全社共通費等 連結消去	▲4.3億円	▲5.0億円

連結業績サマリ（契約件数KPI進捗）



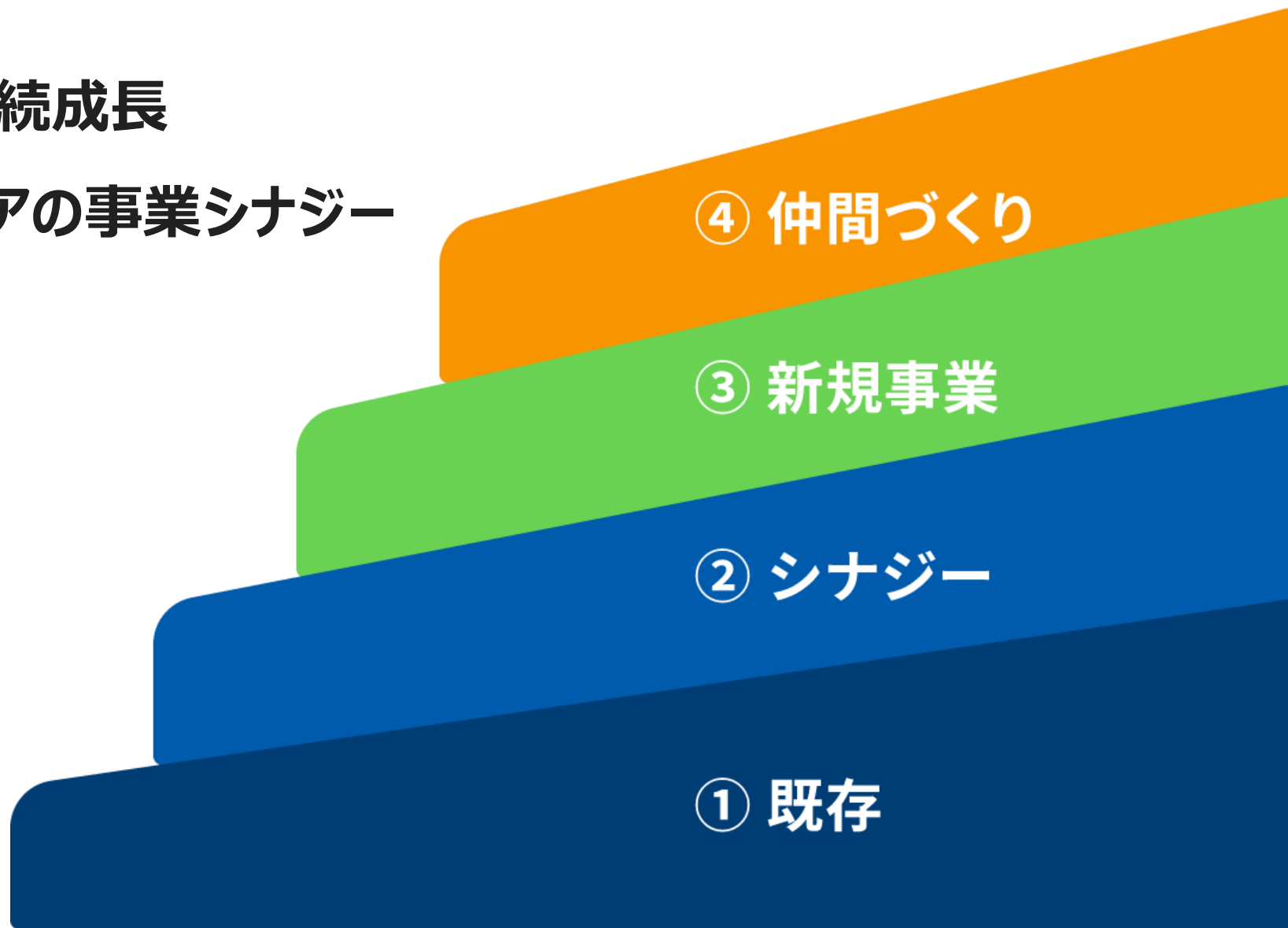
1. 2025年第3四半期 決算サマリ

2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

3. 株主還元について

4. 参考資料

- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② インフラ×広告メディアの事業シナジー
- ③ 新規事業
- ④ 仲間づくり（M&A）



① 既存事業の安定・継続成長

② インフラ×広告メディアの事業シナジー

③ 新規事業

④ 仲間づくり (M&A)

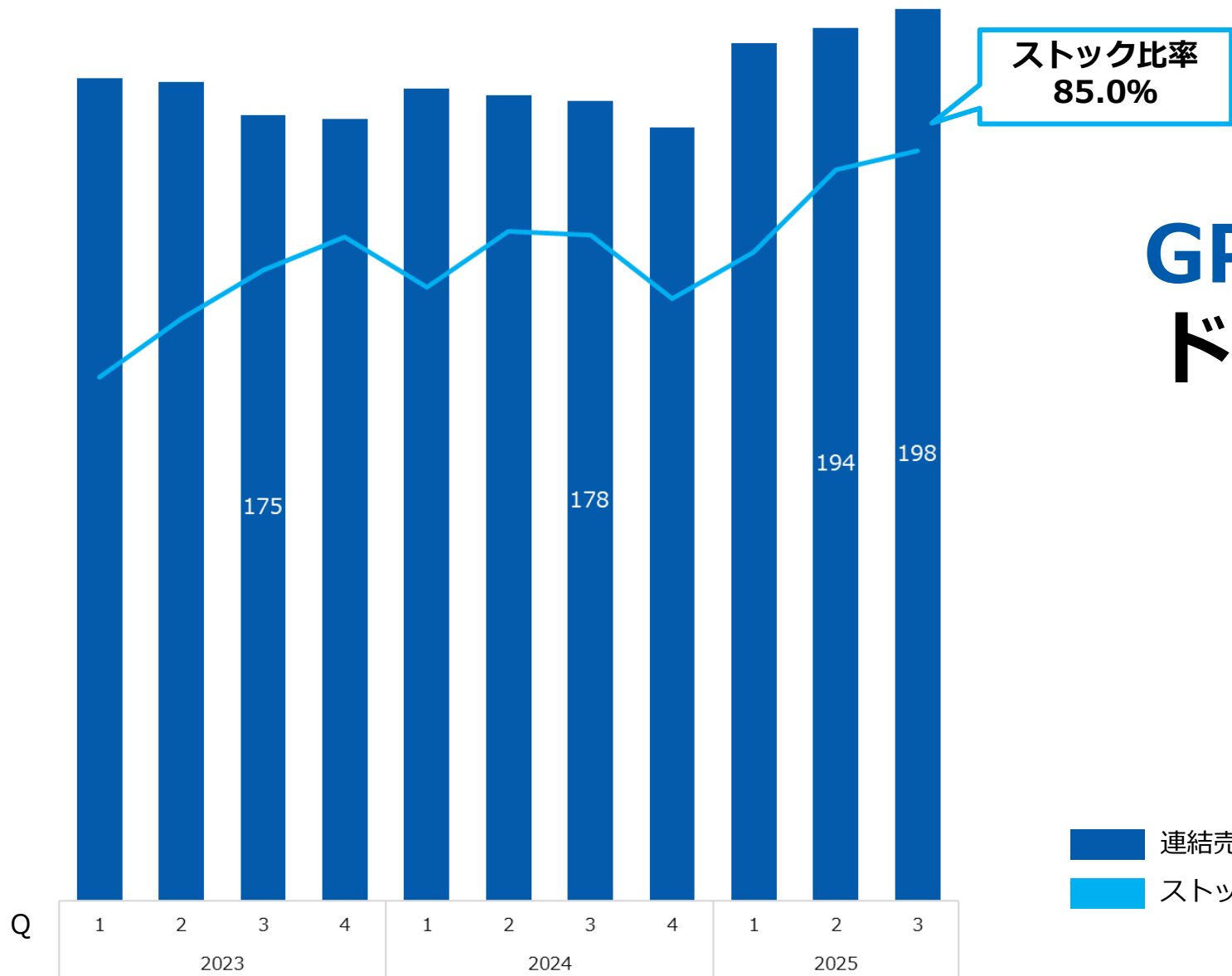
④ 仲間づくり

③ 新規事業

② シナジー

① 既存

連結売上・ストック売上比率 推移

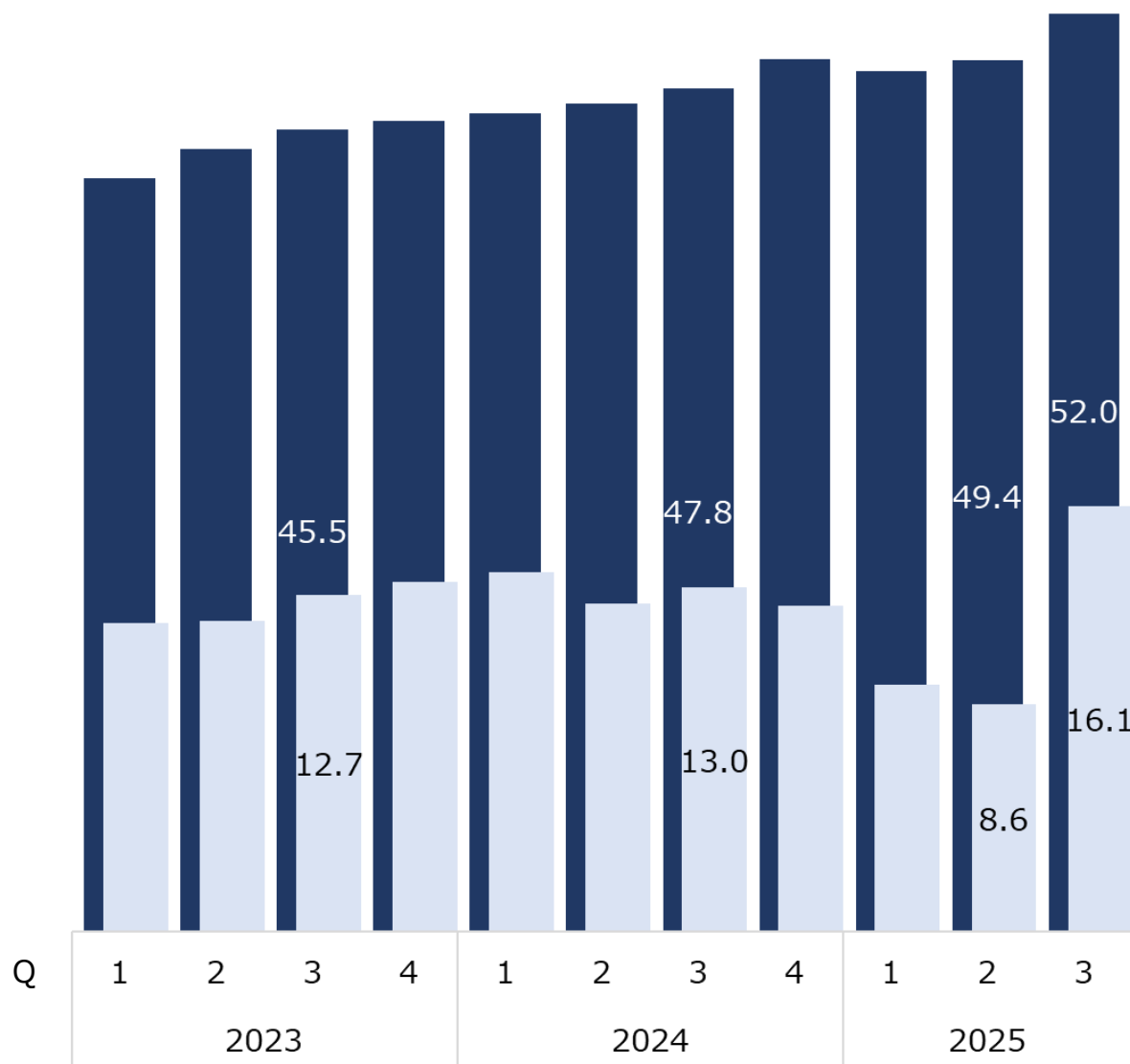


GPUクラウド事業に加え
ドメイン大口登録により
売上増

ストック比率が上昇

■ 連結売上高 (億円)
■ スtock比率

※2023-2024年の数値については現体制であったと仮定した場合の概算数値を記載しております



**GPUクラウド事業は
投資回収フェーズへ
(単月黒字化達成)**

**既存事業も堅調
売上・利益ともに増加**

■ 売上高 (億円)
■ 営業利益 (億円)

※2023-2024年の数値については現体制であったと仮定した場合の概算数値を記載しております



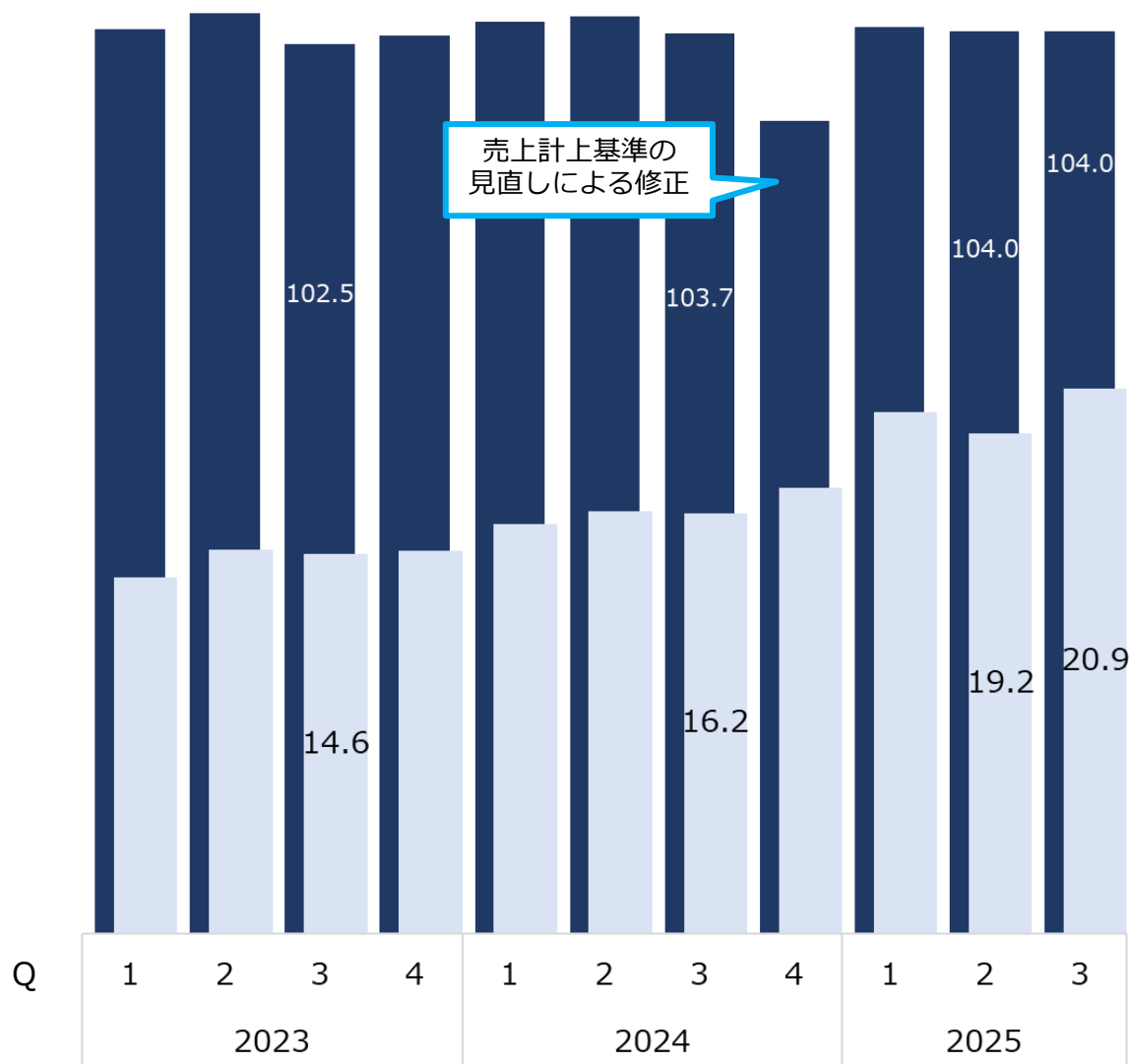
ホームページ構築を

AIエージェントがサポート

- ✓ 瞬時にさまざまなデザインを提案
- ✓ HTML/CSSの専門知識不要
- ✓ PC、スマートフォン等マルチデバイスに対応



設立間もない
法人のお客さまを
金融とITサービスで
強力サポート



商材ミックスの改善による
利益率改善方針を継続

売上水準は現状を維持し
利益面では継続的に増加

■ 売上高 (億円)
■ 営業利益 (億円)

※2023-2024年の数値については現体制であったと仮定した場合の概算数値を記載しております

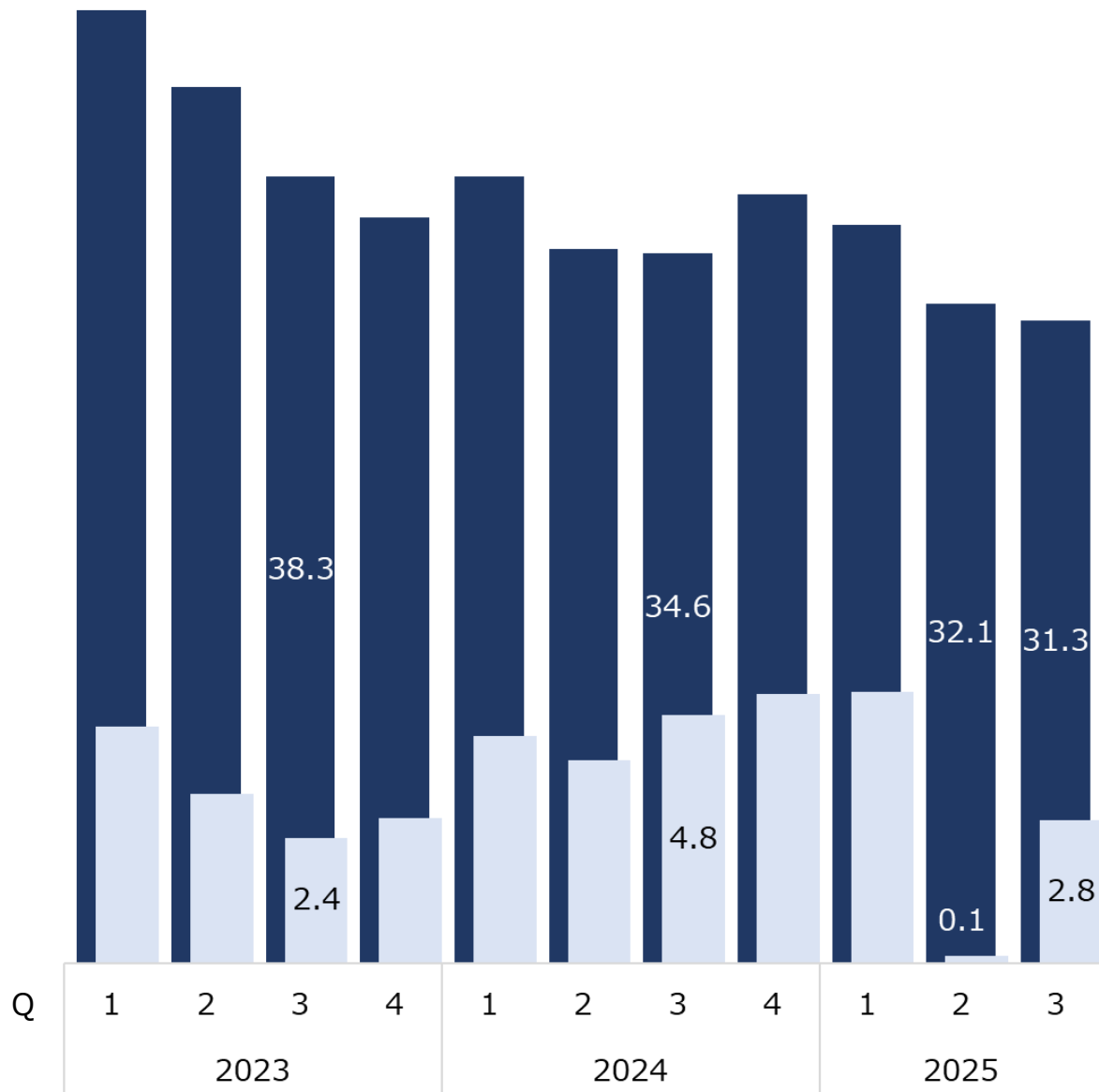


WiMAX+5G
ホーム/モバイルルーター

新規契約・他プロバイダからの
乗り換え好調



WiMAX新規契約数
YoY+ **128%**



広告業界の構造変化に対し
組織体制の見直しを実施

改善施策が奏功し
Q2を底として回復

■ 売上高 (億円)
■ 営業利益 (億円)

※2023-2024年の数値については現体制であったと仮定した場合の概算数値を記載しております

GMO NIKKO

The advertisement for Marketing Insight by GMO features a blue background with white and yellow text. It highlights the tool's ability to provide competitive analysis data from the previous day, available by 10 AM the following day. The text includes '業界初' (Industry First), 'AIによる推察' (AI-based inference), and 'Web行動や検索行動のデータを元にした、昨日の競合動向が今日わかる「競合分析ツール」です。' (Using web and search behavior data to know yesterday's competitor trends today). It also lists the price as ¥88,888 and mentions a free trial. A screenshot of the tool's interface is shown on the right, displaying various metrics and a line graph. The bottom of the ad features the Marketing Insight by GMO logo and a small copyright notice.

スポンサー
marketing-insight.jp
https://marketing-insight.jp/ > お得にお買い得！
Marketing-insight.jp | タイムセール
Web行動や検索行動のデータを元にした、昨日の競合動向が今日わかる「競合分析ツール」です。私たちは競合と市場の情報を迅速かつ正確に提供し、マーケターの意思決定速度と精度を向上させ、すべてのマーケターの意思決定にインサイトを...

※ AIによる推察
Web行動や検索行動のデータを元にした、昨日の競合動向が今日わかる「競合分析ツール」です。私たちは競合と市場の情報を迅速かつ正確に提供し、マーケターの意思決定速度と精度を向上させ、すべてのマーケターの意思決定にインサイトを...

業界初

「昨日」のデータを
「翌朝10時」に確認できる
競合分析ツール

料金プラン
よくあるご質問

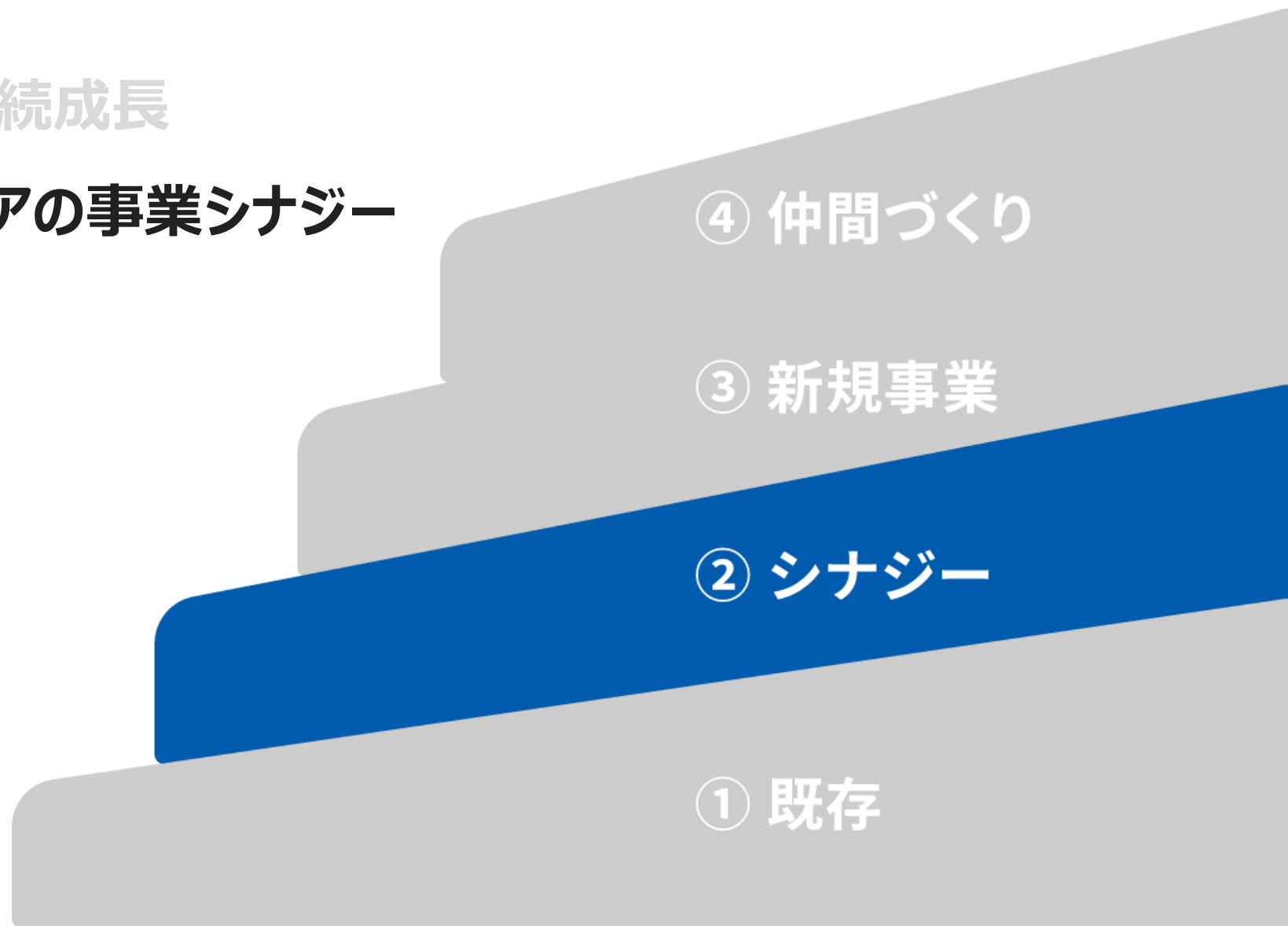
Marketing-insight.jp | タ... ¥88,888
Marketing-insight.jp | タ... ¥88,888
Marketing-insight.jp | タ... ¥88,888
GMO NIKKO
GMO NIKKO
GMO NIKKO

MARKETING INSIGHT by GMO

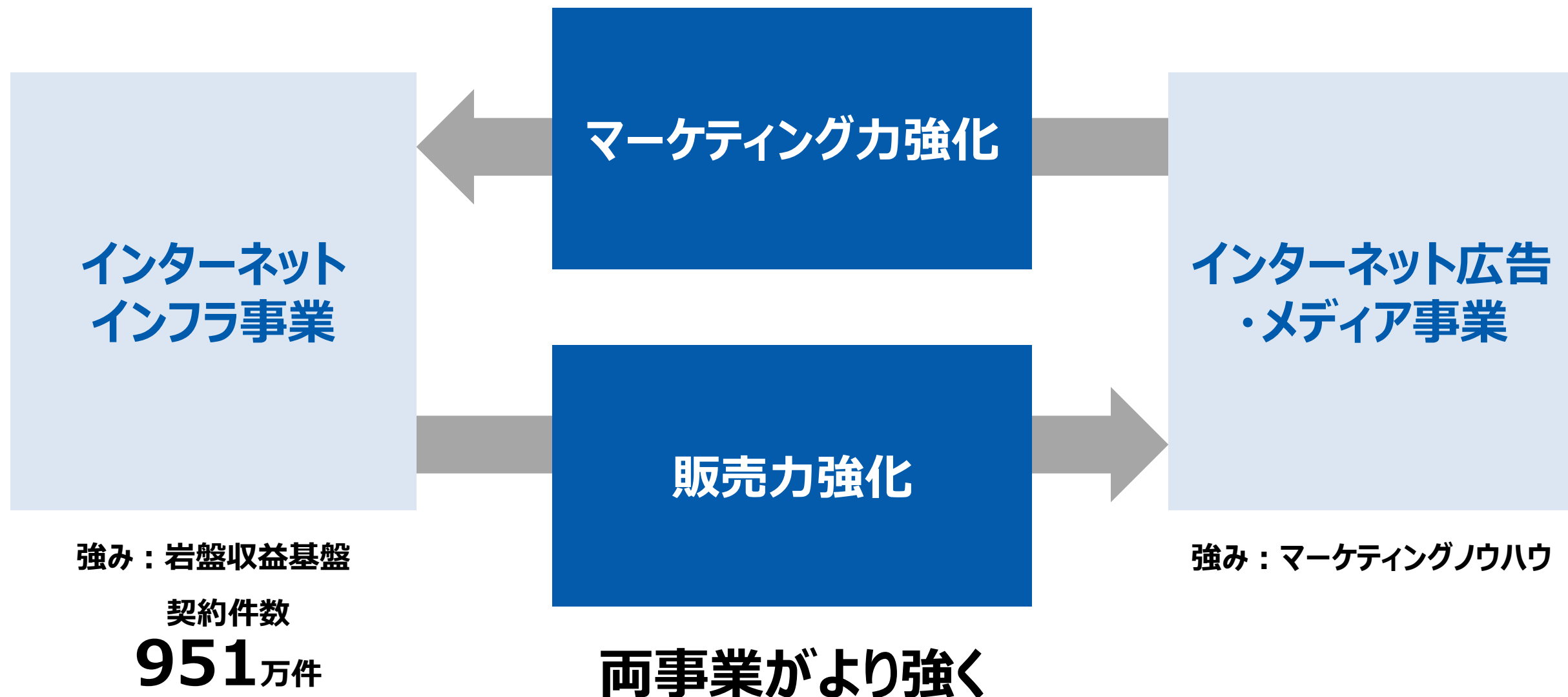
© 2025 年 8 月現在、WEB アクセスの統計データをもとにした法人向け競合分析ツールで初めて、昨日分の最新データ提供を実装（当社調べ）

WEBサイトの
ユーザー行動やアクセス状況を
多角的に分析できる
競合分析ツールを
月額料金で提供

- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② **インフラ×広告メディアの事業シナジー**
- ③ 新規事業
- ④ 仲間づくり (M&A)



インフラ×広告メディアの事業シナジー



今回実施した施策

広告事業→インフラ事業
50名の配置転換

インフラ事業の
販促・制作・開発力強化

成果と現状

広告事業のコスト構造改善
利益面は大きく回復

利益コントロールを継続
事業構造を見直し
ストック事業へ転換



岩盤収益基盤の強化

ビジネスコンシェルジュ

powered by



ビジネス効率化への近道を

ドメイン国内シェアNo.1のお名前.comが運営するDX支援サイト

NEW!



コンサルティング業界におすすめの
採用管理システム9選 | 選び方も解説

2025/11/06

NEW!



アパレル業界におすすめの採用管理
システム8選 | 選定ポイントも解説

2025/11/06

NEW!

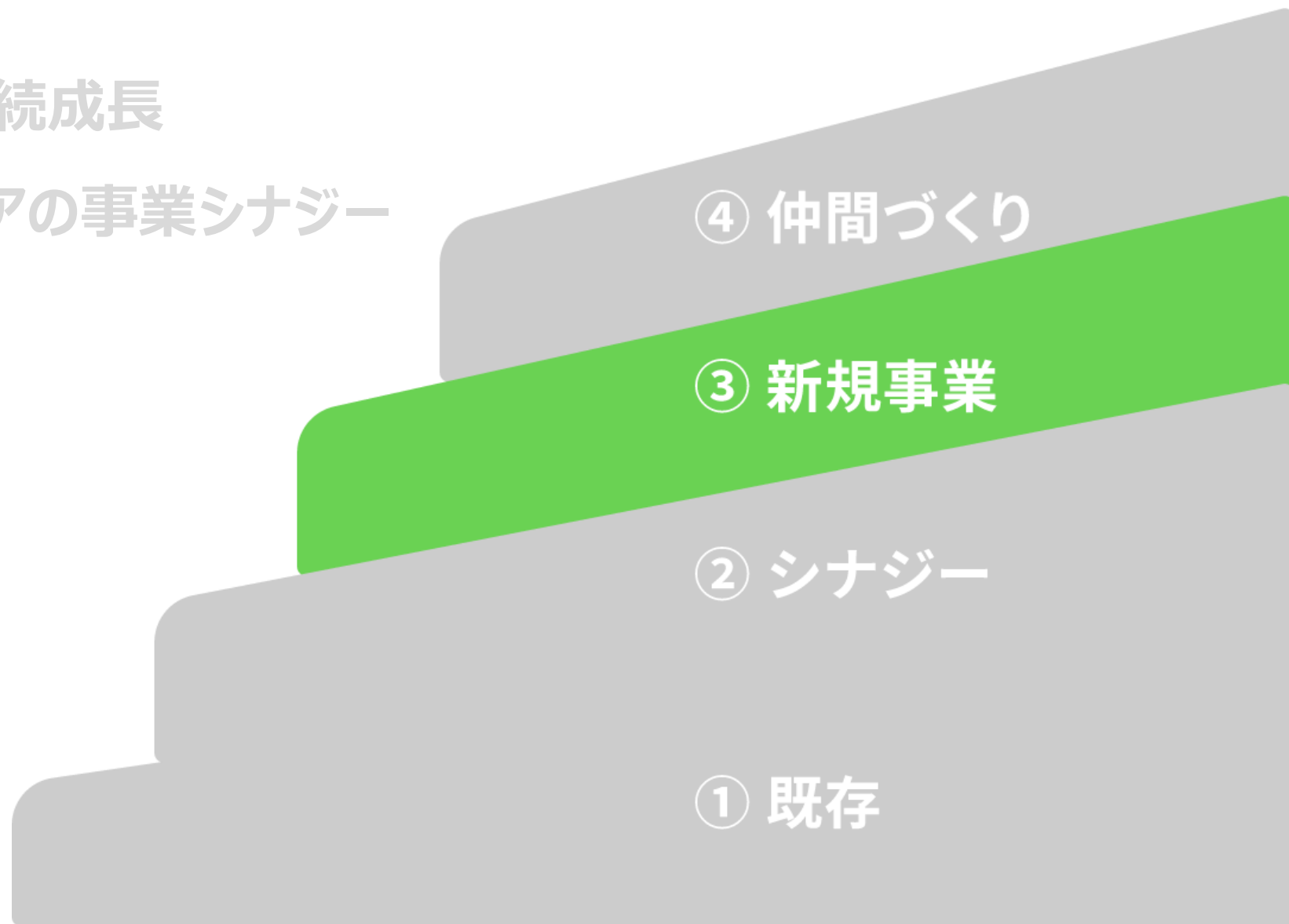


ベンチャー企業におすすめの採用管理
システム3選 | 選び方も解説

2025/11/06

広告メディア事業の
メディア運営ノウハウと
お名前.comの
顧客基盤を活用

- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② インフラ×広告メディアの事業シナジー
- ③ **新規事業**
- ④ 仲間づくり (M&A)





Q3内単月黒字化

Q4フル稼働に向け順調

NVIDIA HGX B300
国内最速で年内提供予定

推論から大規模学習まで最適な環境を提供

Conoha VPS
by GMO

GMO GPUクラウド



NVIDIA L4 GPU

推論



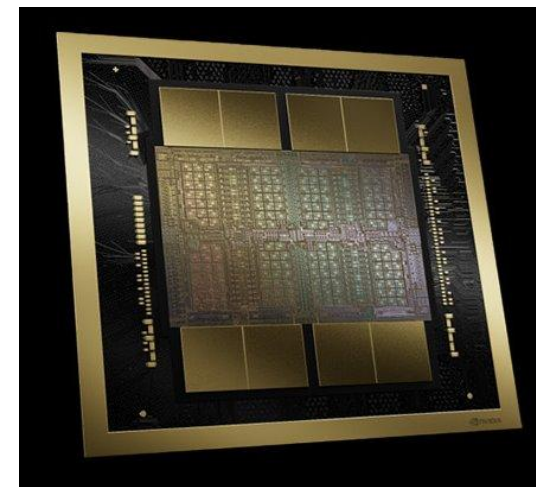
NVIDIA H100 GPU

中小規模学習・推論



NVIDIA H200 GPU

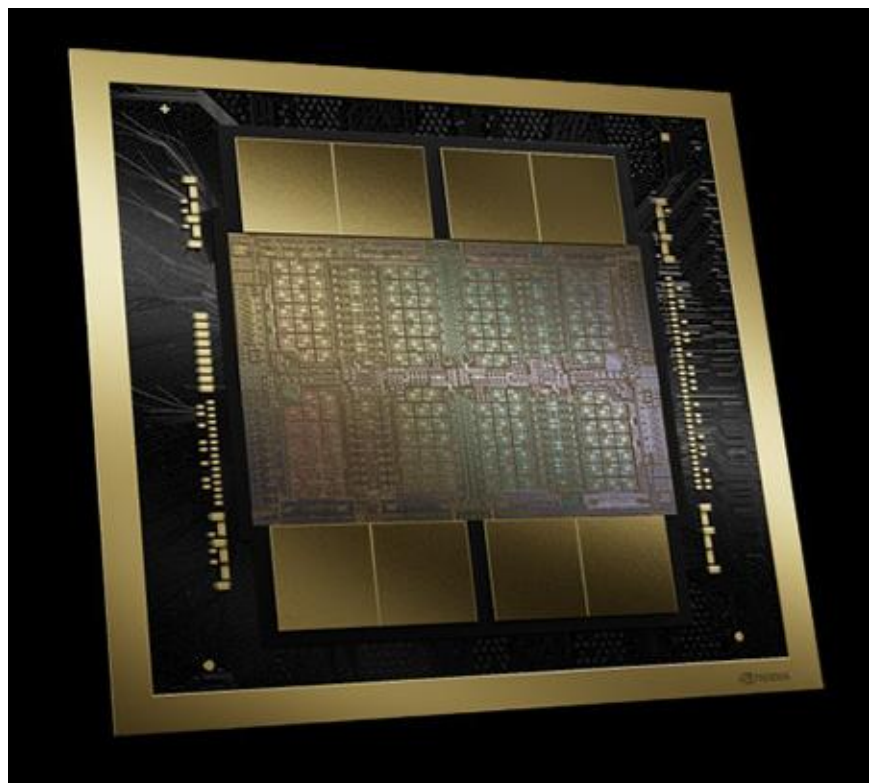
大規模学習



NVIDIA B300 GPU

大規模学習・大規模推論

B300は GPUメモリ、演算性能 共にH200から向上 推論のための FP4 演算精度も備えた次世代のGPU



	スペック(NVIDIA H200比)
GPUメモリ	288GiB(204%)
メモリ帯域幅	8.0Tib/秒(176%)
FP4 性能	新たに対応
FP8 Tensor Core 性能	2.25倍に性能向上

9/25 GMO AI・ロボティクス大会議&表彰式 を開催



GMO AI・ロボティクス大会議&表彰式でのビデオメッセージ



<https://www.youtube.com/watch?v=NdeUjI76KzQ&t=2150s> より引用

NVIDIA ジェンソン・フアン CEO

今は歴史的な時です。**AIはすべての産業と科学分野を変革**します。その変革の中心にあるのが、新たな種類のデータセンター「**AI ファクトリー**」です。**GMOは「B300 (Blackwell)」によって次のステージに備えています**。Blackwellが支えるAIファクトリーは科学・産業・ロボティクスなど国家的なニーズに応える存在となります。NVIDIAはGMOがプラットフォームを拡張しこの新しい時代で**日本を変革する取り組みにおいてパートナーである**ことを誇りに思います。

ご登壇頂いた皆様（一部）



早稲田大学 教授
一般社団法人AIロボット協会
理事長
尾形 哲也 様



チューリング株式会社
代表取締役CEO
山本 一成 様



NVIDIA
日本代表 兼 米国本社副社長
大崎 真孝 様



sakana.ai

最先端のAI関連技術を生み出し、AI研究の最前線を切り拓く
研究開発企業
大規模言語モデルの研究開発などにGMO GPUクラウドを使用

Sakana AI株式会社 David Ha CEO



大規模分散学習では、単にGPU性能が高いだけではなく、通信・ストレージ・ジョブ管理まで含めたソフトウェアスタックの完成度が、研究スピードを大きく左右します。GMO GPUクラウドは、その点において極めてバランスが良く、私たちのワークロードに必要な環境が事前に備わっていたため、構築作業に時間を割かれることなく本来の研究に集中することができました。また運用支援にあたる技術者の知識と対応力は非常に頼もしく、問題発生時も原因の切り分けから解決までが迅速で、安心して大規模実験を継続できます。加えて、Grafana等を用いたモニタリング基盤により、GPUのメトリクスをリアルタイムに把握し、モデル学習効率を常に最適化できる点も高く評価しています。GMO GPUクラウドが、これからも日本国内のAI開発基盤として発展し、研究・産業双方の成長に寄与することを願っています。

世界のGPUクラウド事業者の国際評価「ClusterMAX™ 2.0」 国内初の「Silver」評価を獲得

SemiAnalysis GPU Cloud ClusterMAX™ Rating November 2025	
Ranking	Neocloud
ClusterMAX™ PLATINUM semianalysis	CoreWeave
ClusterMAX™ GOLD semianalysis	ORACLE NEBIUS Azure Crusoe FluidStack
ClusterMAX™ SILVER semianalysis	together.ai Lambda Google Cloud aws Scaleway Cirrascale VULTR VOLTAGE PARK GCORE firmus GMO GPUクラウド TENSORWAVE
ClusterMAX™ BRONZE semianalysis	Hyperstack Shadeform neysa STN GMI RunPod AtlasCloud PRIME Intellect CUDO COMPUTE QUBRID latitude.sh Lightning AZ verda DENVR IBM Cloud DigitalOcean HOT AISLE BUZZ HPC vast.ai
Not Recommended	Underperforming SHARON AI IREN HYDRA FarmGPU WHITEFIBER deepinfra dstack PaleBlueDot AI Hyperbolic GPU.NET Akamai HETZNER CLORE AI Massed Compute Exabits SESTERCE E2E Cloud OVHcloud Aethir akash salad MITHRIL
	Unavailable NSCALE core42 HUMAIN CORVEX Highrise BluSky AI ARC COMPUTE TELUS telenor MISTRAL AI firebird Alibaba Cloud MEGASPEED BITDEER RunSun Cloud FPT CLOUD backend NAVER indosat SAKURA YOTTA neevcloud evroc greenai.cloud

出典：<https://newsletter.semianalysis.com/p/clustermx-20-the-industry-standard>

「IOWN APN」を活用した分散型データセンターの共同実証開始



- ✓ GPUとストレージ間の遠隔利用
(東京⇔福岡)の技術実証を開始
- ✓ AIリソースの最適配置
学習データの保管に関する
地理的制約の解消を目指す

IOWN : Innovative Optical and Wireless Network
NTTの次世代の通信・情報処理基盤

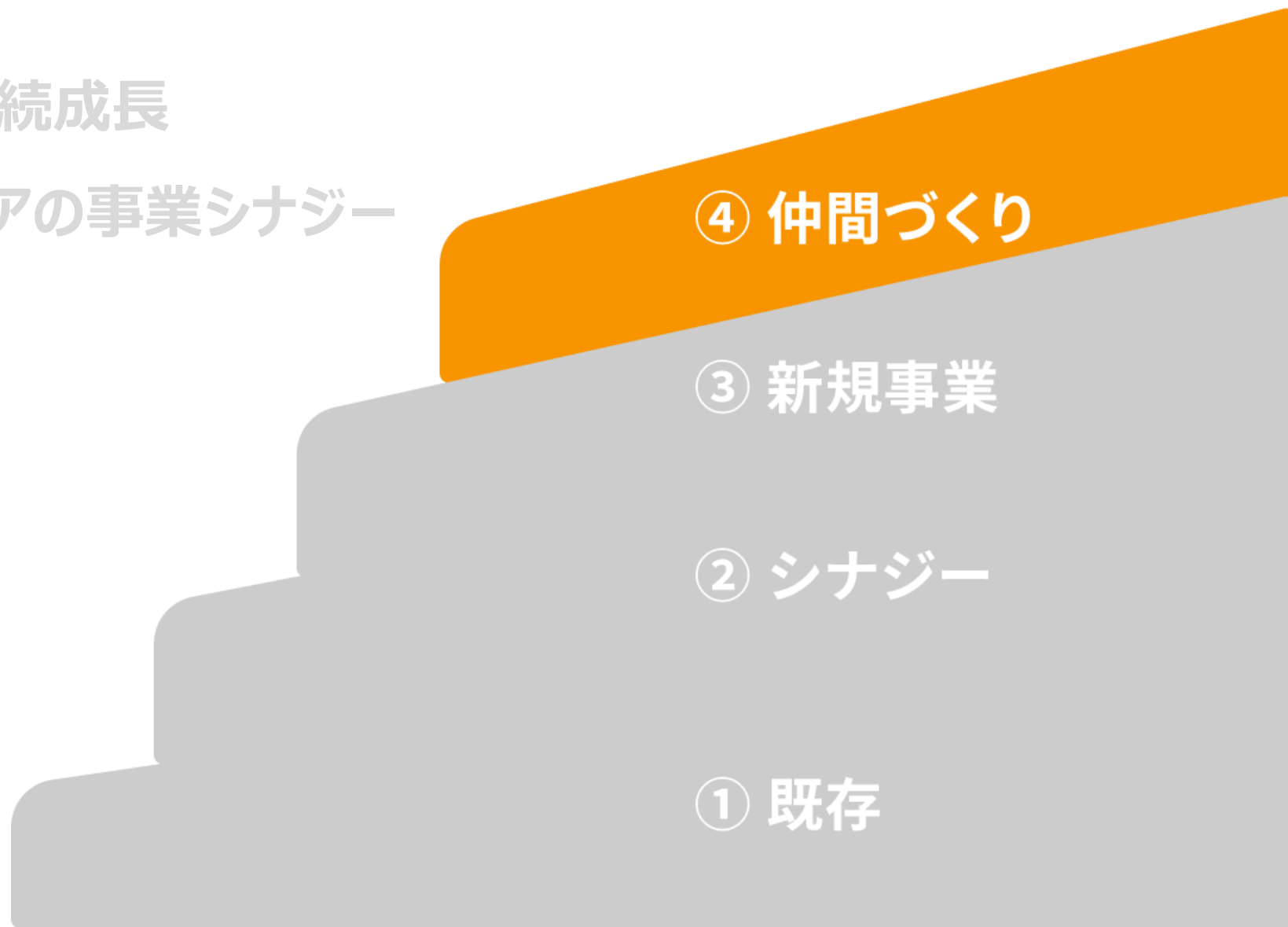
投資実績 / 計画

- 2023/12 ○ NVIDIAパートナープログラム参画
- 2024/ 2 ○ NVIDIA H200搭載GPUサーバー
約**100億円**の投資を公表
- 2024/ 4 ○ 経済産業省「クラウドプログラム」供給確保計画の
認定取得。最大**19.25億円**の助成予定を公表
- 2024/11 ○ GMO GPUクラウドサービス開始
- 2025/ 3 ○ 追加ストレージへ**2億円**を投資
- 2025/ 5 ○ H200GPU-256基
~~15億円を追加投資（5/14発表）~~ **B300への投資に変更
（= H200追加購入なし）**
- 2025/ 8 ○ B300 GPU搭載GPUサーバー25台へ**22億円**を投資
- 2025年末～ ○ B300 追加投資分**25台** 順次稼働予定

Q2から投資計画の
更新はなし

B300の**年内稼働**に向け
準備を進行

- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② インフラ×広告メディアの事業シナジー
- ③ 新規事業
- ④ 仲間づくり (M&A)



積極的仲間づくり (M&A) で成長加速



テーマ

- ・ 既存事業のシェア拡大
- ・ ストック型商品の強化
- ・ グループ内の組織再編

テーマ

- ・ 既存事業のシェア拡大
- ・ ストック型商品の強化
- ・ グループ内の組織再編

進捗状況

▶ 対象会社へのコンタクトや
仲介会社との面談等
継続的に実施

▶ 広告事業内の周辺領域事業を
グループ会社 (3695 : GMO-PP) へ移管

1. 2025年第3四半期 決算サマリ

2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

3. 株主還元について

4. 参考資料

四半期配当について

一株当たり
四半期純利益

5.84円

×

配当性向

100%[※]

(65% + 35%)
(基本配当性向) (記念配当)

＝

Q3配当

5.84円

※自己株式の控除調整実施前の配当性向となります

※記念配当は2025年－2026年の2年間で予定しております

通期配当予想

18.2円

	2025年Q1	2025年Q2	2025年Q3	当期配当累計	通期進捗
1株あたり 配当	4.61円	4.17円	5.84円	14.62円	80.3%

- ▶ 既存事業・新規事業ともに堅調
通期業績予想に対する進捗は想定通り
- ▶ GPUクラウド事業は単月黒字化
- ▶ 広告事業の組織再編は一定の成果
シナジー発揮への取り組みを継続
- ▶ 四半期配当実施・配当性向100%

すべての人にインターネット

GMO

1. 2025年第3四半期 決算サマリ

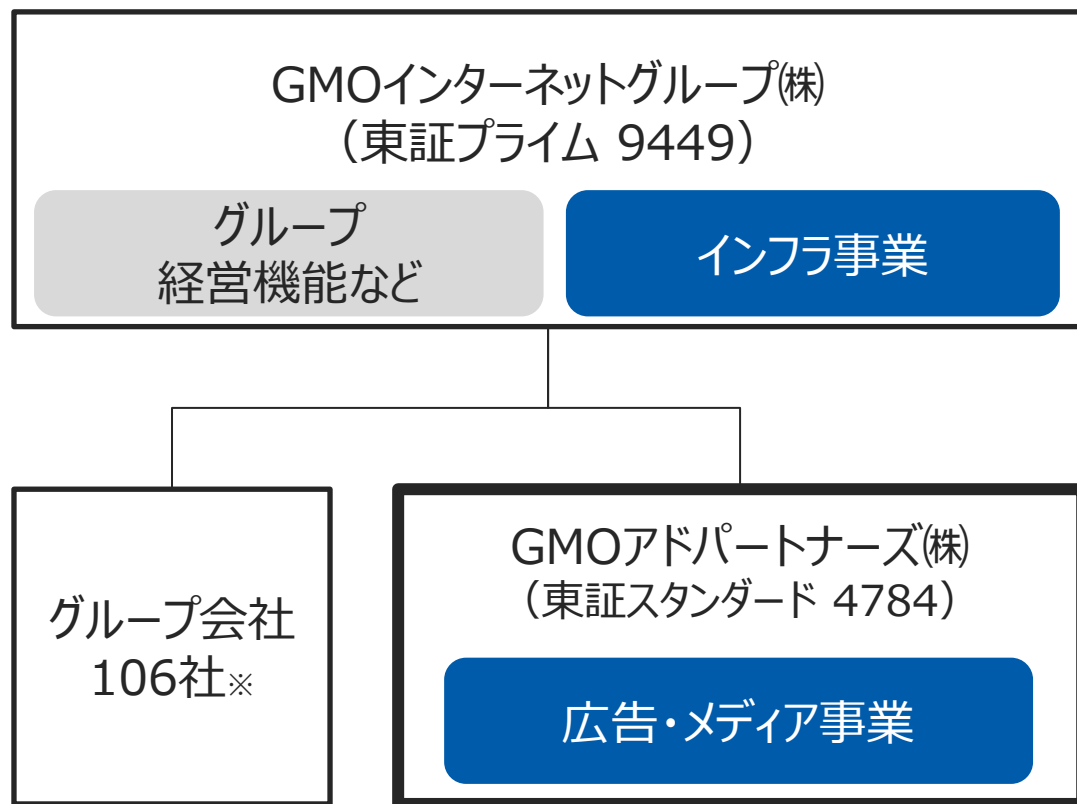
2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

3. 株主還元について

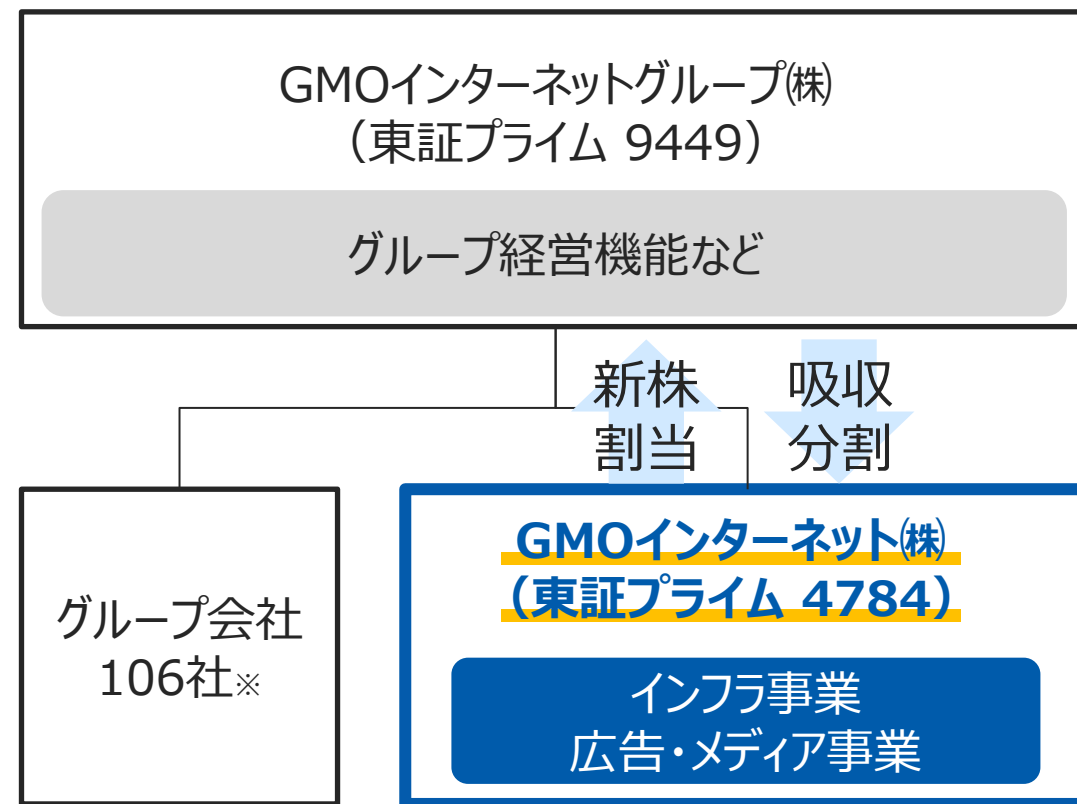
4. 参考資料

GMOインターネットグループ[®](株)の事業を、GMOアドパートナーズ[®](株)へ承継し、
GMOインターネット(株)に社名変更。GMOインターネットグループ[®](株)は持株会社化。

～2024.12.31



2025.1.1～



※2024年12月時点

パートナー (社員) 数

国内：1,103名 海外：954名 (2025年9月時点)

拠点

東京・大阪・宮崎・北九州・仙台・沖縄
タイ・ベトナム・フィリピン・モンゴル・ミャンマー・ラオス

2024年 売上高

740億円 (概算)

連結グループ会社

GMO NIKKO GMO INSIGHT Z.com 海外9社

企業サイトURL

<https://internet.gmo/>

代表者

代表取締役社長 伊藤 正 代表取締役副社長 橋口 誠

インターネットインフラ事業

ドメイン事業

個人・法人顧客に対し、ウェブサイトの住所に
当たるドメインの登録・販売（レジストラ）
サービスを提供



クラウド・レンタルサーバー （ホスティング）事業

個人・法人顧客がオンラインビジネスや情報発
信を行う環境として、インターネットのインフラ
（サーバー）を提供

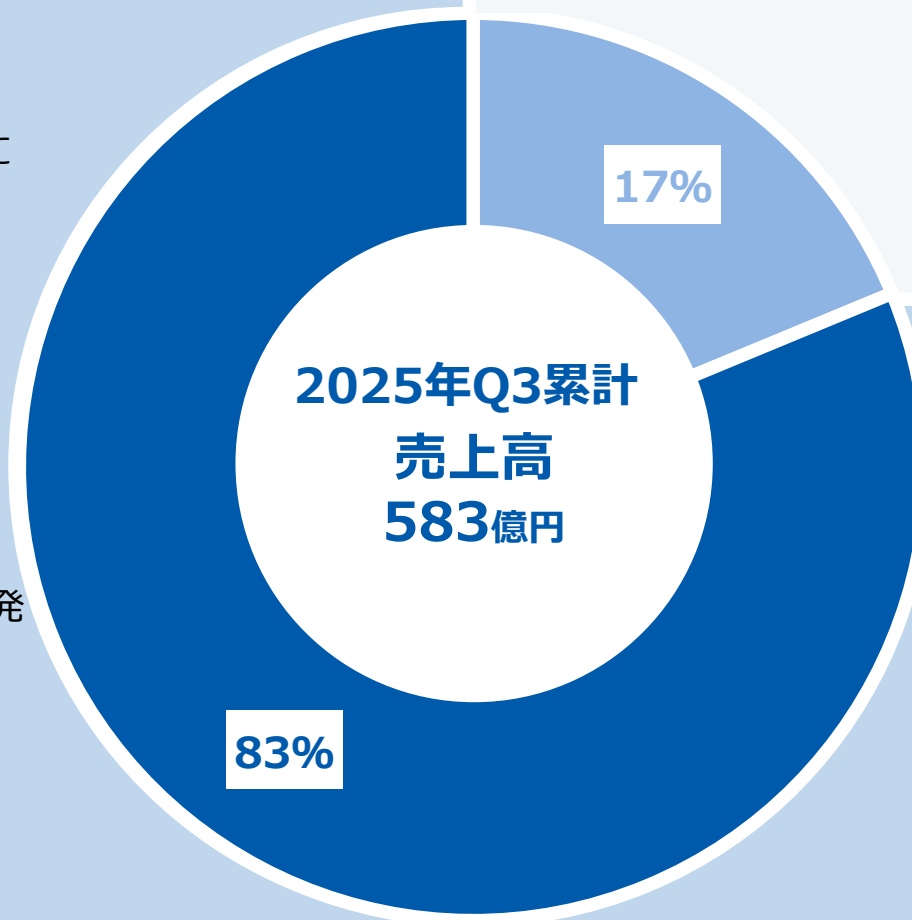


インターネット広告・メディア事業

Webマーケティングソリューションの提供
自社運営のオンラインメディアを展開

インターネット接続 （プロバイダー）事業

1995年の創業以来、個人・法人顧客に対して
信頼性の高い光回線・モバイル回線による
インターネット接続サービスを提供



無くならない、無くてはならない
かつ

継続課金の商材

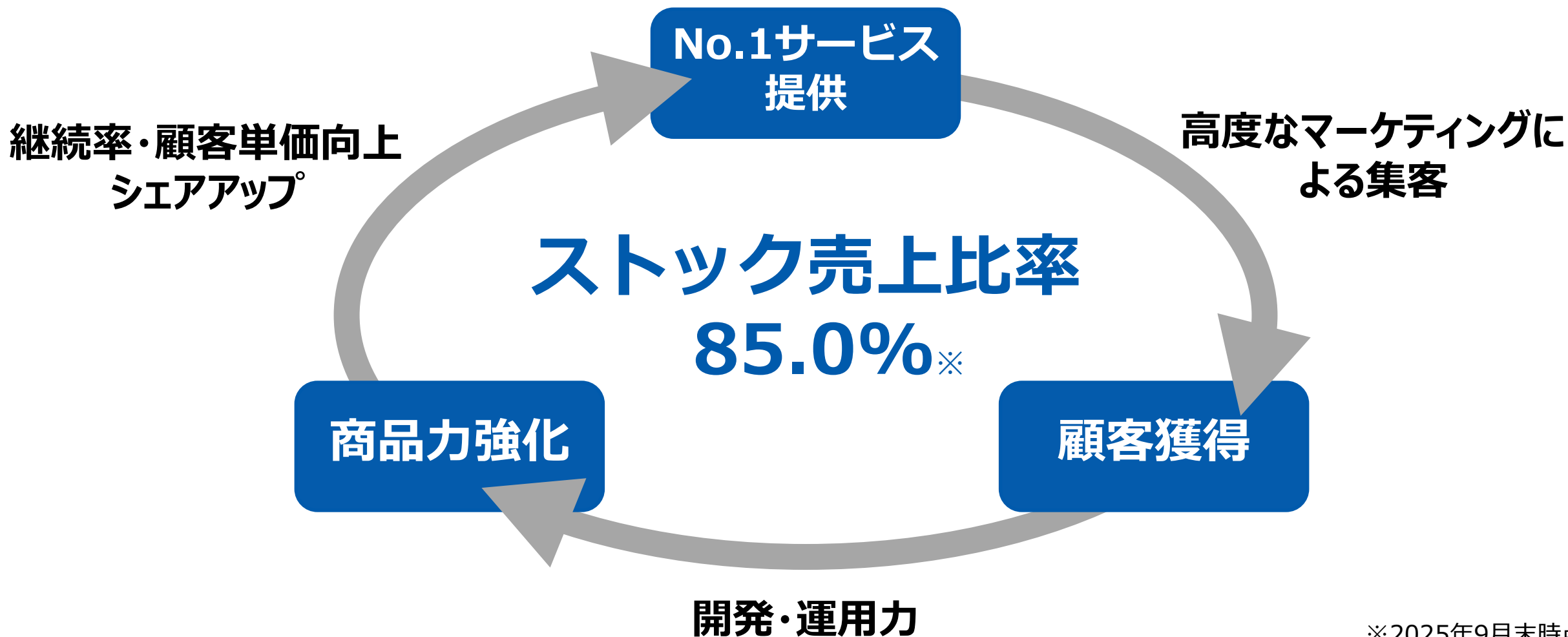


契約件数 **951万件** ※

※2025年9月末時点 国内件数

参考資料 | 岩盤ストック収益について

No.1サービスの提供およびマーケティング力の強化により顧客開拓・獲得の加速を目指す
経験豊富なエンジニアの開発力を活用し、高品質なサービスの提供や満足度・継続率の向上を目指す



※2025年9月末時点

(単位：百万円)

流動資産		流動負債	
現預金	12,014	短期借入金・1年以内返済長期借入	1,381
受取手形、売掛金及び契約資産	11,626	未払金	6,067
前払費用	6,075	買掛金	3,135
その他	3,145	契約負債	10,440
流動資産合計	32,861	その他	7,733
固定資産		流動負債合計	
工具器具備品	5,994		28,758
リース資産	3,020	固定負債	
その他	1,088	長期借入金	4,467
有形固定資産合計	10,103	リース債務(長期)	2,525
のれん	1,515	その他	400
ソフトウェア	1,857	固定負債合計	7,392
その他	672	負債合計	
無形固定資産合計	4,044		36,151
投資有価証券	1,026	株主資本	
繰延税金資産	1,320	資本金	500
その他	696	資本剰余金	9,660
投資その他の資産合計	3,044	利益剰余金	3,373
固定資産合計	17,192	自己株式	-179
		株主資本合計	13,355
		その他の包括利益累計額	319
		自己資本合計	
			13,674
		新株予約権	153
		非支配株主持分	75
		純資産合計	
			13,903
資産合計	50,054	負債純資産合計	
			50,054

- ・ 前四半期と比較して大きな変動なし
- ・ のれん：Z.com海外インフラ事業分
借入金：主にGPUクラウド投資によるもの
リース債務：GPUクラウド投資によるもの

Q : GMOインターネットグループ（9449）による株式売却状況について

A:

- ・2025年7月29日および10月29日にGMOインターネットグループ株式会社（以下、GMO-IG）より 開示がありましたとおり、GMO-IGでは、当社株式の売却を市場への影響を鑑みつつ適宜実施しているものと認識しています。
- ・当社の流通株式比率の改善に向けた取り組みと認識をしており、いわゆる株式の売り出しや増資とは異なり発行体側は関与しないためこれらの売却に関し、当社では詳細を把握しておりません。
当社は流通株式比率の改善はプライム上場維持に向けた重要な課題と認識しており、引き続きGMOインターネットグループ株式会社と連携のうえ改善につとめてまいります。

Q：仲間づくり（M&A）について、足元の進捗状況は

A:

- ・既存事業のシェア拡大・ストック型商品の強化に向けては、継続的に対象会社へのコンタクトなど、ソーシング活動を実施しています。それぞれの詳細については、検討中の段階においてはどうしてもお伝えすることが難しいものではありますが、経営陣も積極的に関与しつつ検討を継続しています。
- ・一方で、流通株式比率の基準達成・プライム市場への上場維持を当社は最優先の課題と位置づけており、売出しの実施といった局面においては、適切なインサイダー情報のコントロールが要求されます。
- ・こうした状況を鑑みつつ、仲間づくり案件の実施に関しては、慎重さとスピード感を両立できるよう、適切に検討を進めてまいります。

Q：5月26日の売り出し中止の開示について、背景と今後の方針は

A:

- ・当社は5月14日に「上場維持基準の充足を目指した株式の売出しに関するお知らせ」の開示を行ったのち、5月26日に「市場動向を鑑みた株式の売出しの中止に関するお知らせ」の開示を行いました。当社の株価変動や足元の市場動向を鑑み、当社株主の皆さまにとっての最適な条件を図る観点から慎重に検討した結果、5月26日時点での売出し実施は適切ではないと判断し、同日開催の取締役会において本売出しの中止を決議したものととなります。
- ・東京証券取引所プライム市場への上場維持に関しましては、これまでお伝えしている「プライム市場への上場維持は当社にとって重要である」という認識に変更はございません。引き続き、親会社であるGMOインターネットグループほか関係各所と協議を継続し、流通株式比率改善に向けた取り組みを検討してまいります。

	変更前 (～2024)	変更後 (2025～)
基本配当性向	50%	65%
記念配当性向 (2025-2026)	-	35%
総配当性向 (2025-2026)	50%	100%
配当回数	年1回	四半期配当
株主優待	・ GMOクリック証券 売買手数料のキャッシュバック ・ GMOクリック証券 当社株式買付手数料のキャッシュバック (上限1万円)	・ GMOクリック証券 当社株式買付手数料相当額 (株式買付代金×0.03%) (小数点以下切り上げ) に相当する ビットコイン付与 (上限1万円)

※1：配当性向の向上に伴い、GMOクリック証券における売買手数料のキャッシュバックは廃止となりました。

※2：GMOクリック証券において2025/9/1より株式取引手数料が無料となることに伴い、当社株式買付手数料に関するキャッシュバックを下線部の通り見直しました。

セグメント	サブセグメント	内訳
インターネット インフラ事業	ドメイン・ レンタルサーバー事業	  
	インターネット接続事業	 
	インターネットインフラ事業 その他	海外事業 インフラ事業 共通費等
インターネット広告 ・メディア事業	インターネット広告 ・メディア事業	 
	インターネット広告 ・メディア事業 その他	広告事業 共通費等
その他及び連結消去		全社共通費等 連結消去

- ・決算短信においては、セグメント別の売上・営業利益を開示しております。
- ・当決算説明資料における区分は、決算短信のセグメントに関し内訳を詳細にご説明できるようサブセグメントを設けております。
- ・各セグメント内におけるサブセグメントの合算値がセグメントの値と同一となるよう区分をしております。

結論：特段の影響なし

サブセグメント

影響

ドメイン・レンタルサーバー事業

影響なし：サーバー部材調達価格（当社ではなく、仕入先への影響）
半導体などは現状対象外も、状況について注視

インターネット接続事業

影響なし：原則、国内仕入れ

インターネット広告・メディア事業

影響なし：原則、国内仕入れ＆物理的な調達物なし

その他

為替リスク：為替予約等によるリスク管理を実施

【取締役】



取締役会長
熊谷 正寿



代表取締役
社長執行役員
伊藤 正



代表取締役
副社長執行役員
橋口 誠



取締役
安田 昌史

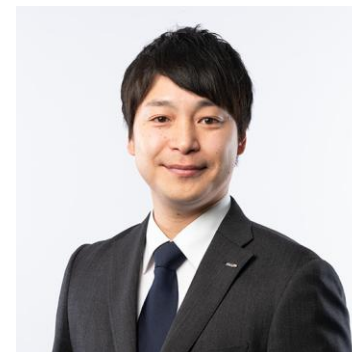
【監査等委員である取締役】



取締役監査等役員
岩濱 みゆき



取締役監査等役員
杉野 知包



取締役監査等役員
鮎川 拓弥

【執行役員】



副社長執行役員

山下 浩史



常務執行役員

林 泰生



常務執行役員

児玉 公宏



執行役員

菅谷 俊彦



執行役員

佐久間 勇



執行役員

徳永 伸一郎



執行役員

齋藤 稔



執行役員

牧田 哲

本資料取扱い上のご注意

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2025年11月13日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に引用しております各社商標、著作物等知的財産権、並びに肖像権その他一切の権利は、当該知的財産権を有する各権利者並びにその権利の主体に帰属します。

GMO INTERNET